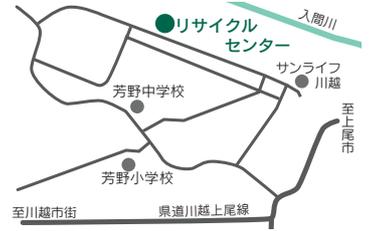


# 施設めぐり

リサイクルセンター  
TEL223-82200



リサイクルセンターは、不燃物の処理施設とリサイクル施設が併設された複合施設として、平成五年に完成しました。一日に約七十台のごみ収集車が、「不燃ごみ・粗大ごみ」と「缶・ペットボトル」を運んできます。同施設では、それぞれ三十トン処理する能力を備えています。

粗大ごみの中で、まだ使える家具などは修理をして、金曜日（祝日・休日を除く）の午前九時〜午後四時（正午〜午後一時を除く）に同センターで、展示販売しています。



修理して磨きあげれば、まだまだ使えます

「缶・ペットボトル」は、スチール缶・アルミ缶・ペットボトルに分別され、資源化されます。キャップを外す・中を軽く水洗いすることで、資源の品質が高まります。幅広くリサイクルできるようにするために、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。

## 人権教育シリーズ

### 児童・生徒の作文①

教育指導課・TEL224-6114

平成十九年度に川越市内の小中学生から募集した作文をまとめた人権文集「あけほの」から、作品を紹介します。

#### どうもありがとう

小学二年生

ぼくは、左手をねんざしてしまいました。だから、一人でジャンパーをきられなくて、Aくんにたのんだら、「いいよ。」

と言つて、やってくれました。ねんざがなおるまで、いつもやってくれました。

「ありがとう。」

と言いました。そうしたら、「どういたしまして。」

と言つて、やってくれたので、うれしかったです。ぼくは、できるだけ自分でできようががんばりました。でも、一人できられなくて、Aくんがやってくれたときは、ほんとうにうれしかったです。

きゆう食にパンが出るとふくろがあけられなくて、Bくんにたのんであけてもらいました。ぼくは、「ありがとう。」と言いました。そうしたら、「いいよ、けがをしているんだか

ら、むりをしないでね。パンが出たら、またあけてあげるね。」

と言つてくれました。ぼくは、うれしくなつて、また、「ありがとう。」

と言いました。

べん強をしているときにまちがえて、けしゴムでけすことができなかつたので、Cさんにたのんでけしてもらっていました。

「ありがとう。」

と、言うと、

「何回も言わなくていいよ。」

と言つてくれました。ほんとうに言わなくていいのかなと思いましたが、お母さんにそうだとすると、「ちゃんと、ありがとうを言いなさい。」

と言われたので、つきからも、「ありがとう。」

と言いました。

ぼくは、たくさんたすけてもらったので、だれかがけがをしたら、こんどは、ぼくがたすけてあげたいと思います。

## いざ！ 災害に備えて⑤

防災危機管理課・TEL224-5554

### ●大地震に備えて その2

今回は、地震が発生した場合の行動例について紹介します。

室内にいる場合…落下物などから身を守るため、テーブルや机の下に入って、揺れが収まるのを待つ

路上にいる場合…ブロック塀や自動販売機には近づかないようにし、かばんなどで頭を保護して、公園や学校のグラウンドなどに避難する

スーパーや電車内などにいる場合…慌てて出口や階段に殺到しないで、係員の指示に従う

エレベーターの中にいる場合…すべての階のボタンを押し、停止した階で降りる



# 知って得する! 川エコの知恵⑤

## 「エコドライブ」の巻

市内の自動車保有台数は約204,000台、そのうち乗用車は143,000台で、1世帯当たり約1.1台を保有していることとなります。

車を運転するとき、10km走行するごとに、急発進・急加速を1回しないようにすると、約65gの二酸化炭素が削減され、燃料費も約5円お得になります。これを市内の乗用車保有台数に換算すると、全体で約9.2tの二酸化炭素が削減され、燃料にすると約3,600ℓ（約612,000円）もの削減になります。

急発進・急加速を行うことは、事故の原因にもなり、エンジンにも負担がかかります。また、空吹かしは燃料の悪化や大気汚染・騒音の原因にもなっています。

上記の事を意識し、マナーを守り・環境に配慮した運転を「エコドライブ」と言います。市民の皆さん、ぜひ「エコドライブ」の実践に、ご協力をお願いします。

市では環境に配慮して、ごみ収集に使用している車は、すべて二酸化炭素排出量の少ない天然ガス車を導入し、地球温暖化対策と大気汚染防止に努めています。

\*自動車保有台数は平成19年3月31日現在、ガソリン価格は1ℓ当たり170円換算。

### 第2回目のクイズです。



【問題】川越市の1世帯当たりの自動車保有台数は何台？

- ①1.1台 ②1.5台 ③2台

このクイズへの応募については、広報川越No.1178・17ページをご覧ください。

問い合わせ…環境政策課・TEL224-5866

## けんこうメモ

### 子どもを事故から守りましょう

総合保健センター母子保健担当・TEL229-4125

日本は、乳児死亡率が医学の進歩・衛生状態の改善などにより、世界で最も低い国になりました。しかし、不慮の事故による死亡数は、ほとんど減っていません。現在は、一歳からの子どもの死亡原因の第一位となっています。

小さい子どもは好奇心が強く何にでも興味を示します。しかし、危険についての理解ができません。子どもの周りには、常に事故の危険が付きまといまいます。しかし、子どもの発達や行動パターンをよく理解し、月齢・年齢に合った適切な対応をとることで、大部分の事故は防ぐことができますといわれています。まずは、次の事に注意しましょう。

- ①五、六か月くらいから、たばこや口紅などの誤飲事故が多くなります。子どもの手の届く所に小さい物を置かないように気を付けましょう。母子健康手帳には、子どもの口に入る大きさの目安がありますので、確認してください
- ②一歳を過ぎ、行動範囲が広がってくると、転落事故・家庭の浴槽や洗濯機での水の事故・交通事故が増えてきます。階段の入り口にさくを付ける・浴槽の水を抜くようにするなど予防をしましょう

## Report

## 消費生活レポート

159

多重債務①「多重債務に陥ってしまったら」

### 事例

生活費が足りず、三万円、八万円と借金を繰り返した。そのうち、毎月の返済で生活費が無くなってしまった。そして、次には借金返済のために借りるようになった。借金の事で悩んで体調も悪くなり、仕事もできなくなってしまった。消費者へのアドバイス

全国で消費者金融の利用者は一千万人以上、そのうち半数以上は、複数の消費者金融を利用しています（平成十九年十二月現在）。消費者金融（ローン）やクレジットの無計画な利用により、借金が雪だるま式に増えてしまう「多重債務」状態に陥るケースが増えています。

多重債務に陥らないためには、安易に「返済のための借金をしない」ことです。

市には、次の二つの相談窓口があります。もし今、多重債務に陥ってしまったら、決して一人で悩まないで、相談してください。

- ・生活情報センター
- ・広聴課（法律相談・予約制）  
TEL224-5022

### 消費生活相談

生活情報センター・市民相談室分室で行っています。詳しくは、毎月二十五日発行の広報川越・市民相談案内をご覧ください。

問い合わせ…生活情報センター（アトレ六階）

TEL226-7066

（相談専用）TEL226-7476